

【今号の1枚】スマイルトイレプロジェクト



トイレ建設によるまちづくり事業「スマイルトイレプロジェクト」を草の根技術協力事業として日本ハビタット協会がケニアで実施しています。

同国の多くの農村地域では、トイレがないため野外排泄をするか、屋根や壁もなく足場の不安定な穴掘り式トイレを使わざるを得ない状況です。清潔なトイレは「まちづくりの特効薬」で、SDGs 目標 6「安全な水とトイレを世界中に」だけでなく、その他の目標である「貧困の削減」、「全ての人の健康」、「教育機会の提供」、「ジェンダー平等」にもつながります。本プロジェクトでは、人々が安心して継続して使用できるトイレの建設と手洗い場の設置により衛生環境を改善することで、コミュニティの発展を促しています。

「世界手洗いの日（10/15）」や「世界トイレの日（11/19）」に合わせた啓発活動キャンペーンでは、手洗い場やトイレの設置のデモンストレーションなどを行い、参加者から「手洗いやトイレの大切さだけでなく、設置方法も学べて良かった。」との声があがりました。

（写真提供：日本ハビタット協会）



ウガンダ 世界手洗いの日のイベント開催（2021年10月15日）

今年の世界手洗いの日（2021年10月15日）、ウガンダでは手洗い啓発イベントを実施しました。本活動を実施した、JICA ウガンダ事務所、海外協力隊員、そしてご協力いただいた SARAYA 社からのご寄稿をお伝えします。

【JICA ウガンダ事務所の取り組み】

新型コロナ対策の一環として、ウガンダ政府は2020年9月 Community Engagement Strategy（CES）を制定し、Village Health Teams（VHT：地域保健ボランティア）の活動を再活性化することでコミュニティレベルでの感染予防対策の強化・徹底を図っています。JICA ウガンダ事務所では CES 支援のために新型コロナ緊急支援技術協力プロジェクト「コミュニティ保健強化プロジェクト」を立ち上げ、国内4県におけるVHTの活動展開をサポートしています。

JICA は地域保健の要であるVHTに正しい手洗いの方法を知ってもらうために10月15日「世界手洗いの日」に、ムコノ県のヘルスセンターで手洗い啓発イベントを開催しました。同イベントは日系企業 SARAYA Manufacturing Uganda とプロジェクトの実施団体



正しい手洗いの方法を実践する参加者の様子



VHTが参加したSARAYAによる手洗い実験の様子

体である African Center for Global Health and Social Transformation（ACHEST）と共催し、SARAYAによる手洗い実験・トレーニングやJICA ボランティアによる手洗いダンスの披露を通じて参加者に対し手洗いの重要性を啓発しました。またプロジェクト対象県においてはコミュニティラジオを通じた現地語の手洗い啓発メッセージの発信や国内2大新聞社に手洗いに関連したJICA事業の紹介記事を掲載し、集中的な手洗い啓発を行いました。



手洗いダンスを披露

現在ウガンダにおける新型コロナウイルスの感染拡大は比較的落ち着いてはいますが、国内のワクチン接種がなかなか進まない現状があり、人々が日常生活の中で簡単に組み入れる感染予防対策＝日常的な手洗いがとても重要となっています。イベントを通じてVHTが正しい手洗いの方法を生き生きと学び、その学びが彼らの日々のコミュニティ活動を通じて地域住民に普及していき、コミュニティレベルでの感染予防・健康の増進につながることを期待されています。

(JICA ウガンダ事務所)

【海外協力隊の活動】

私は現在 HIV 孤児や貧困家庭の子どもたちを支援している NGO で活動しています。家庭訪問の際には、安全な水へのアクセス、石鹸の有無、いつどのようにして手を洗っているか等ヒアリングを行っています。適切に手洗いを行っている家庭は少なく、手が汚れているまま食事をする場面も多くみられます。また近隣の小学校では、校内で適切なソーシャルディスタンスが保てない、マスクの着用や手洗いなど基本的な感染対策が身につけていない、校内の手洗い場が不足している等の理由から、休校明けの感染拡大を懸念しています（ウガンダでは新型コロナウイルスの影響で約2年間学校が休校しています）。



家庭訪問時の手洗い指導

石鹸を使った正しい手洗い方法を伝え、丁寧に手を洗っています。

そこで、10月15日世界手洗いの日に行われた JICA と SARAYA のイベントを参考にし、手洗い啓発プロジェクトを配属先と近隣学校と共同で立ち上げました。プロジェクト1回目の活動として、来年1月の学校再開時期に合わせて、小学校内での手洗いイベントを企画しています。適切な手洗い方法についてレクチャーを行い、Tippy Tap(ポリタンクと棒などで作る簡易手洗い装置)を校内に設置し手洗い場の不足を少しでも解消できるように計画しています。また、石鹸を購入できない家庭も多いため、手作り石鹸のデモンストレーションも保護者向けに行う予定です。子どもが主体的に楽しく手を洗う事が身につくよう、青少年活動の隊員にも協力してもらい手洗いダンスの普及もしたいと考えています。手洗いが習慣になるまでは時間がかかると思いますが、2年間の活動の中で継続した取り組みを行い、1人でも多くの子どもに適切な手洗いを身に付けてほしいと思っています。

(2021-7 感染症・エイズ対策 ウガンダ・ムピジ県派遣 星野香子)



各家庭の手洗いの様子

多くの家庭ではポリタンクを直接傾けて手洗いをしています。石鹸は使用していません。

【SARAYA 社の取り組み】

■ SARAYA にとって、世界手洗いの日の重要性とは

SARAYA と日本ユニセフ協会は、2010年より「[100万人の手洗いプロジェクト](#)」を実施しています。このプロジェクトの目的は、ウガンダの母親とその子どもたちに正しい手指衛生を教え、石けんを使った手洗いの習慣を広めることで、予防可能な感染症による子どもの死亡率を減らすことです。2010年から2012年の第1期では大きな成果を上げましたが、ウガンダの状況はまだまだ改善の余地があります。

SARAYA にとって世界手洗いの日は、石鹸と水による手洗いの重要性を広めるためのプラットフォームです。医療施設や学校に通う子どもたち、小さな子どもを持つ母親などを対象に、ウガンダ全土に、手洗いという良い習慣を広めることができます。手洗いの重要性を理解してもらうために、「手指衛生5つのタイミング」と「正しい手洗いの方法」を説明するように心がけています。

■ 10月15日に行われたムコノ地区でのイベント

今年の世界手洗いの日のイベントは10月15日にムコノ地区で、VHTへの啓発を目的に、開催されました。

具体的には、5歳以下の子どものマラリアや栄養状態の検査、病気を予防するための健康・衛生問題に関するコミュニティの啓発などを行います。

このイベントは、手指が細菌を様々な場所に広げてしまう危険性、これを防ぐための手指衛生の重要性、患者のケアの際に手指衛生を行うべきタイミング、石鹼と水、アルコールベースの手指消毒剤を使った適切な手指衛生の方法などについて、VHTを教育する良い機会となりました。また、細菌に見立てた、UVライトで光るローションを手のひらに塗った状態で手を洗ってもらい、手洗い後にUVライトを手当てることで、通常の手洗いでは洗い落としがちな手の部分をVHTに示すことができました。COVID-19感染拡大を受けて、適切な手指衛生の重要性を強調出来たイベントだったと思います。



VHTによる手洗いの実演の様子

■JICAとのイベント共催

世界手洗いの日イベントを開催したJICAとACHESTとの協業により、コミュニティに手洗いを普及させるための様々な方法について意見交換を行うことができました。この協業を通じて、ウガンダの4つの地区で、手指衛生の重要性を認識させるラジオトークショーを実施し、また、正しい手洗いの方法を学ぶことが出来る手洗いダンスも披露しました。



JICAボランティアによる手洗いダンス

JICAウガンダ事務所長は、SARAYAがウガンダで行っている本事業の中で、特にこのコロナ禍で行っている一連の活動を高く評価しました。また、日本人の平均寿命が85歳であるのは、子どもの頃から手指衛生の重要性を学んでいるからだとし、ウガンダの人々にも適切な手洗い習慣が取り入れられるようにこれからも努力していきたいと述べました。

(サラヤ株式会社 Ajok Robinah)

【関連記事】サラヤ株式会社のJICAとの民間連携事例

https://www.jica.go.jp/priv_partner/case/release/bop_uga01.html



パプアニューギニア リンパ系フィラリア症とCOVID-19の対策のために

「大洋州広域フィラリア対策プロジェクト」では、大洋州の6か国において、熱帯病の一つであるリンパ系フィラリア症撲滅のために活動を続けています。活動国の一つであるパプアニューギニア(PNG)では元々医療体制が十分ではない中で、COVID-19の感染拡大により、プロジェクト活動の延期を強いられたりするなど、住民の健康維持に影響を及ぼしています。



小学校に「正しい手洗い漫画」を配布

当プロジェクトでは、同国の3州を対象に、駆虫薬の集団投薬の実施や、感染状況の調査支援などを行っています。COVID-19の感染拡大を受け、村や学校を訪れる際には、「[正しい手洗い漫画](#)」(井上きみどりさん)の**現地語(ピジン語)版**を配布しています。また、配布の際には、州保健局スタッフらが学校の子もたちに正しい手洗いの方法や必要性についての啓発活動も行っています。これまでに配布した手洗い漫画は、すでに1万枚を超えます。

また、当プロジェクト活動は、国際保健機関(WHO)やその他多くの団体と連携して活動が進められています。民間企業のイーザイ(株)もその一つです。同社はWHOを通じて、リンパ系フィラリア症治療薬をPNG保健省に提供しており、当プロジェクトはこの治療薬を活用して活動を行っています。さらに同社からは、今年5月に感染対策防護具として、マスク50,000枚、手袋35,000枚の寄贈を受けました。地元保健医療関係者は、寄贈されたマスクと手袋を活用して活動を行うと共に、「正しい手洗い漫画」を活用した手洗い促進活動を続けています。

そして、JICA PNG事務所では、独自に手洗い運動の啓発活動に努めています。10月15日の世界手洗いの日に合わせ

て、セントラル州の小学校と農業工業高校に出向き、先生や子どもたちとの感染症対策についての意見交換や、手洗いの実演を行いました。手洗い漫画は、子どもたちの大きな興味を引き、手洗いの重要性を考える契機となりました。高校の学生は「手洗いは病気の予防にとっても大切です。友達や近所の人、クラスメートにもぜひ教えてあげたいです」と語ってくれました。



世界手洗いの日に合わせ、漫画を使って JICA スタッフと正しい手洗いを学ぶ学生

【関連記事】

(JICA) 【パプアニューギニア】学校での「正しい手洗い啓発」漫画の配布

https://www.jica.go.jp/project/all_oceania/004/news/20210921_02.html

(JICA) 【パプアニューギニア】製薬会社エーザイより集団投薬 (MDA) 実施に向け COVID-19 対策用マスクとグローブを寄贈いただきました

https://www.jica.go.jp/project/all_oceania/004/news/20210518.html

(エーザイ株式会社) パプアニューギニアにおけるリンパ系フィラリア症制圧活動、集団投与再開に向けた COVID-19 対策用マスクと手袋を寄贈

<https://www.eisai.co.jp/sustainability/atm/medicines/021.html>

(パプアニューギニア事務所 青木雅基)

ブータン COVID-19 下で子どもたちの幸福と権利を守る

世界的な COVID-19 の流行により、特別な教育的ニーズ (Special Education Needs、以下 SEN) のある子どもたちの教育にも間接的な影響が出ています。

ブータン政府と教育省は、子どもたちが COVID-19 ウイルスに感染するのを防ぐとともに、現在の COVID-19 感染状況に対応するために、e ラーニングプログラムを率先して導入しました。

JICA ブータン事務所は、NCWC (国家女性児童委員会) と協働し、教育省内の ECCD (Early Childhood Care and Development : 早期療育) 及び SEN の部門へ「正しい手洗い漫画」(井上きみどりさん) を活用した手洗い運動アニメを提供しました。この動画により Muenselling 視覚障害特別支援学校の SEN のある子どもたちだけでなく、同国内の一般の生徒の手洗いに対する意識向上が期待されます。



動画アニメの引き渡し式

今回の支援は、「子どもの幸福と子どもの権利」に関する国別支援の一環として、COVID-19 感染拡大により幸福が脅かされている子どもたちの保護と適切なケアを確保するためのものです。

活動の詳細については、[教育省ウェブサイト](#)または [JICA ブータン事務所公式 Facebook](#) をご覧ください。



動画アニメの一コマ(1)



動画アニメの一コマ(2)



動画アニメの一コマ(3)

(JICA ブータン事務所 Kuenzang Dorji)

本ニュースレターに掲載・共有したい記事・写真・情報等を随時募集しています！

①配信／配信停止の希望、②記事掲載の希望、③本メールマガジンの表示不具合などのほか、ご不明な点やご要望、ご感想がございましたら、下記の編集・配信担当支援スタッフまでご連絡ください。



地球環境部 JICA 健康と命のための手洗い運動事務局

Web サイト <https://www.jica.go.jp/activities/issues/water/handwashing/index.html>

Handwashg@jica.go.jp

